



畜産を支える技術者集団

片山削蹄所 (北見市)



削蹄 (さくてい) とは？

削蹄は牛や馬などの蹄を整えることです。牛や馬は畜舎で飼われることで蹄が伸びます。蹄が伸びすぎると様々な病気になり、起き上がることもできなくなる場合があります。

また、牛の姿勢を健全に保つことで、乳量増加や肉牛の枝肉重量の増加といった生産性を高め、農家の経営にも影響を与えます。



削蹄前と削蹄後



片山削蹄所の歩み

片山削蹄所は片山正幸代表が平成11年に3名で設立し、現在、従業員は18名まで増え、オホーツク管内を中心に300軒以上の顧客がおり、遠くは稚内まで出張するそうです。ここまで会社が大きくなったのは、「農家の要望に応じてきただけ」と片山代表はおっしゃっていますが、片山代表自身が全国牛削蹄競技大会で優勝した他、従業員の指導を精力的に行い、優勝者を輩出するなど、確かな技術力で農家からの信頼を得たこと、そして農家とのコミュニケーションを大事にしてきたこと等が今の事業規模につながったのではと感じました。

近年、大規模化、スマート農業化が進み経営の合理化、省力化が進んでいる酪農・畜産分野ですが、牛の健康維持が不可欠なことには変わりはありません。普段、我々が口にしている牛乳やお肉が多くの人たちのおかげで安定的に供給されていることを改めて実感しました。



片山代表

☆画像は全て「有限会社カタヤマ」様からの提供

☆片山削蹄所の紹介動画 (YouTube) はこちら！

<https://youtu.be/ZauaTobYmr0?t=50>



牛を保定し作業開始



個体の特徴を見極め一頭ごとに削り方を変えています